

「耐震補強工事の先駆け」 学校、病院など公共施設への施工を通じて 人と社会に信頼され貢献する建設会社

三池建設工業



同社施工の自社ビル

同社は、日本を代表する建設会社鹿島建設の協力企業の一員であり、その中でも鹿島建設の信頼が厚い一部企業のみで構成される『鹿栄会』に入会している。また、昨年宇都宮社長が『技能功労者』として座間市より表彰を受けた。これは、永年にわたり同じ仕事に従事し、すぐれた技能を身につけ、後進の指導育成など業界の発展に尽くした功績と技量を称えて贈られるものである。同社の確かな技術力は、業界内外から認められ信頼されている。

平成7年1月に発生した阪神淡路大震災では、建物倒壊により家屋の下敷きになったことが死因の大半を占めた。この大惨事を経験したきつかけに、現在では当たり前となつている「耐震性」が注目を集め、建築基準法が改正された。そんな中、耐震補強工事に特化していったのが三池建設工業（座間市さがみ野、宇都宮敬矩社長、046・256・8586）である。当時は耐震補強工事という分野もなく、鹿島建設から技術指導を仰ぎ、この分野の先駆けとして技術を磨いていった。

創業から40年という長い期間培った豊富な経験や知識を活かし、学校や病院など既存の公共施設（SRC造・S造・RC造）の耐震補強工事得意としていた。



平成27年11月 座間市の『技能功労者』として表彰された宇都宮社長

「学校や病院は日々多くの人が利用し、緊急時には避難場所になつたり、人の命を守つたりするところなので、今後も堅実な工事を通じていくことで、安全で安心できる空間を提供していきたい」と社長は語る。

耐震補強に関するご相談・ご要望は、遠慮なくご連絡ください。社員一同、心よりお待ちしております。